

市役所代表電話

☎0422-45-1151

困りごとの相談は **市民相談専用電話**
☎0422-44-6600

あなたのご意見を **市民の声専用FAX**
FAX0422-48-2810

子どもを見守る **安全安心メールの登録**
✉maam@req.jp
あてに空メールを送信してください



「みる・みる・三鷹」武蔵野三鷹ケーブルテレビ5
第296回10月19日～11月1日 振り込み詐欺の被害に遭わないために/天皇后陛下がシルバー人材センターをご視察
放送時間/8:30 12:30 19:30 21:30



「おはよう! 三鷹市です」FMむさしの 78.2MHz
放送時間/月～金曜日 10:20～10:25

人口と世帯 平成20年10月1日現在

住民登録者数: 175,804人 男: 86,910人 / 女: 88,894人
外国人登録: 3,249人 世帯: 86,914世帯

山本有三記念館企画展

The Picturesque House ピクチャレスクの家

—近代住宅史から見た山本有三邸—



山本有三記念館(三鷹市指定有形文化財)は、大正末期に建設されたものを山本有三が購入し、1936(昭和11)年から10年間暮らした家です。近代のさまざまな建築様式が見事に調和した全国的にも著名な洋風建築です。

日本の近代住宅の流れのなかで、当館の特徴と見所を紹介するとともに、有三と住まいとの関わりを考えます。また、歴史的にもたいへん貴重な有三邸の進駐軍接収関係資料を初公開します。

☑平成21年4月19日(日)までの午前9時30分～午後5時(月曜休館、月曜日が休日の場合は開館し、翌日と翌々日を休館)

¥入館料 一般300円 団体200円(20人以上)

中学生以下、障害者手帳持参の方とその介助者、高校生以下の校外学習と引率教諭は無料。

☎同館☎42-6233

展示解説

本展監修者の初田亨さん(工学院大学教授)による展示解説

☑11月1日(土)午後1時・3時(2回とも同一内容)

ボランティアによるガイド

☑毎週土・日曜日、祝日の午後1時から

11月1日(土)・2日(日)・3日(祝)、22日(土)・23日(祝)・24日(休)は午前10時から

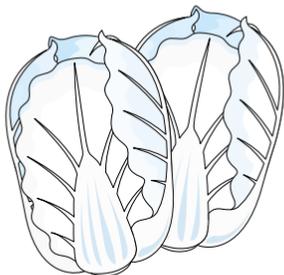
書籍・絵はがきの販売

記念館の絵はがき(10枚1組600円) 書籍「住宅物語 山本有三記念館(定価1,400円、記念館価格1,100円)を販売します。



10月30日(木)川上村の新鮮な白菜を無料で配布します!

秋から冬にかけて寒くなる季節の食卓で活躍する野菜といえば白菜。鍋物によし、漬物によしのとれたて新鮮な白菜を長野県川上村から2トントラックで直送、無料でお配りします。ぜひ、お越しください。



☑10月30日(木)午後2時から(800株がなくなり次第終了)

☑三鷹市暫定管理地(東京多摩青果跡地)

☑当日会場へ(先着制、1人1株)

車でのご来場はご遠慮ください。

☎総務課☎内線3213

国立天文台三鷹キャンパスの特別公開

「すばる望遠鏡の10年」

国立天文台、東京大学天文学教育研究センター、総合研究大学院大学の三者合同で行われる、年に1度の特別公開です。今年は、すばる望遠鏡がテーマです。

☑10月25日(土)午前10時～午後7時まで(入場は6時30分まで)

☑国立天文台三鷹キャンパス、東京大学天文学教育研究センター(大沢2-21-1)

☑当日会場へ

☑国立天文台☎34-3600

【イベント内容】

公開・展示など

主な観測・実験施設の公開、研究紹介・展示、天文相談コーナー、スタンプラリー、ガイドツアー、天体観望会(晴天時のみ)など

国立天文台講演会 = 午後1時15分～3時30分(途中休憩あり)

「この10年で見えた宇宙137億年の歴史」

講師は国立天文台准教授の柏川伸成さん。

「太陽系外惑星とその形成の謎に迫る」

講師は国立天文台准教授の田村元秀さん。

☑解析研究棟大セミナー室

東京大学天文学教育研究センター講演会 = 正午～午後0時40分

「暖かな宇宙を眺める～すばるから最新計画まで～」

講師は東京大学天文学教育研究センター准教授の宮田隆志さん。

☑東京大学天文学教育研究センター



「すばる望遠鏡」(提供: 国立天文台)

星と森と絵本の家(仮称)

シンボルマーク1次選考にご意見を

7月～9月にかけて公募した星と森と絵本の家(仮称)シンボルマークに、1,130作品が寄せられました。応募者の年齢は、4歳から94歳まで幅広く、親子、ご夫婦、クラス単位などの応募も多く、それぞれ温かいコメントが添えられていました。また国内は北海道から沖縄まで、国外からも4件の応募がありました。最終選考の参考とするため、一次選考された作品6点に対するみなさんのご意見をうかがいます(多数決ではありません)。

作品(原画)展示期間

10月20日(月)～10月24日(金)市役所1階市民ホール

10月25日(土)～11月2日(日)三鷹図書館ロビー
11月4日(火)～11月7日(金)市役所1階市民ホール
ホームページにも掲載しています。

応募方法

あなたが選ぶシンボルマークの番号
そのシンボルマークを選ぶ理由
住所(市内か、市外か) 年齢、性別

を展示会場で投票するか、メール・ファクスで。

募集期間

10月20日(月)～11月7日(金)

送付先

コミュニティ文化室
星と森と絵本の家(仮称)シンボルマークご意見募集係☎0422-45-5291

✉komyunitei@city.mitaka.tokyo.jp

重複しての応募はできません。

☎コミュニティ文化室☎内線2515



森の動物たちの住まいになる洞のある切り株から、新しく芽生える森の生きものたちを表現。



三鷹市のイニシャル「M」と「絵本」をイメージ。絵本の中に「星」「森」を配した。



星と森の木と絵本を家の中に集め、フリーハンドのやさしい描線で形どりを表した。



「育」の金文を用いデザイン。子どもは絵本を読んでおり、空には星が、地面には森がある。



子どもたちにもマークを書いてもらえるよう、イラストタッチにした。



豊かで自由な感性の象徴である一羽の鳥は羽を休めている。絵本のような物語を連想。